

令和5年1月18日（水）

「失敗法から成功の秘訣を学ぶ」

3年生の実力テスト、1、2年生の鹿児島学習定着度調査は満足のいく出来でしたか？
今回の話題は、特に1、2年生に向けてのものとなりますが、入試を控えている3年生も自分のこととして振り返る際に参考にしてもらえたらと思います。

ここ最近、書籍やYouTube等をみると、様々な学習方法が紹介されています。どれもこれも良さそうですが、その中から自分に合った最善の方法を見つけるのはなかなか難しいのではないのでしょうか。

そもそも、皆さんの性格や環境、学力、学習状態、得意、苦手科目、志望校、将来の夢はそれぞれ違います。様々な要因はありますが、全員に、ある一つの成功法がマッチするとは限らないことも事実です。

成功の方法が無限に存在するとして、失敗の方法は、いつの時代も誰にとっても共通と言えるのではないのでしょうか。次の5点が、勉強における失敗の代表例です。

- ① 学習量の不足、② スマホが手放せない、③ 教えてもらうことが前提の学習
- ④ アウトプットをしない、⑤ やる前から諦める

失敗方法が不変で共通なら、それらを自身の勉強方法から取り除けば、自然と成功に近づいていけるでしょう。みなさんはこれから、次を意識してみてください。

- ① **学習時間を確保し、内容を工夫する。**
- ② **スマホはルールを作る。(特に使用時間について)**
- ③ **解答に書かれた解説を読み込み、自分で理解しようと努める。**
- ④ **理解した問題をもう一度自分の力で解いてみる。理解できたら、自分でテストをしてみる。友人や家族に学んだことや理解したことを説明してみる。**
- ⑤ **とことん課題に向き合う。**

まさに、「勝ちに不思議の勝ちがあっても、負けに不思議の負けなし」です。

新学期（令和4年度3学期＝令和5年度0学期）が始まったばかりの今こそ、学習方法の見直し改善を行い、新学年で良いスタートをきる準備をしましょう！